

留学先大学:国立台湾師範大学

氏名:山崎滯

【はじめに】

こんにちは、国際文化学科3年の山崎滯です。8月の下旬に台湾へ入国し、9月から来年の6月までの2学期間の留學生活が始まりました。多くの方々のおかげで、留學することができています。ありがとうございます。

今回は、台湾(台北)、諸手続き、学校について書こうと思います。

山崎滯です。よろしくお願いします(^^)



【台湾(台北)について】

台湾は静岡文化芸術大学から見ると、南東辺りにあります。愛知県常滑市にある中部国際空港セントレアから、台湾の桃園市にある台湾桃園国際空港まで、直行便に乗って3時間ほどでした。

天気は晴れていることが多かったです。1日の最高気温も30度を超える日がほとんどで、暑い日が続きました。ただ、晴れていたけれど雨が急に降り、少し経てば止むという日もよくありました。

通貨単位は台湾元で、数字の前に「\$」や、数字の後に「元」と表記されていることが多いと思います。紙幣は1000元、500元、100元、硬貨は50元、10元、5元、1元をよく見ます。現金は主に、ご飯を買ったり、寮で洗濯をしたりする時に使っています。



→台北市街で撮影した、晴れた空の様子と、植物の写真です。すてき！



→寮の部屋から撮影した、曇り空の写真です。この後大雨！

【諸手続きについて】

留学前と留学中のそれぞれで行う手続きがありました。

留学前としては、文芸大の募集への応募、師範大への入学手続き(保険加入、健康診断、ビザ申請)がありました。保険は文芸大指定のプランに加入し、健康診断は文芸大付近にある内科で行いました。ビザはオンラインで申請した後、神奈川県横浜市にある台北駐日経済文化代表処で手続きを行いました。

留学中は、入寮、師範大中国語教学センター(語学学校)への入学、師範大への入学、ARCの取得がありました。学校関係の手続きは対面で、ARCの取得はオンラインで申請した後、台北市にある内政部移民署でカードを受け取りました。



→内政部移民署の写真です。中正区にあり、台北植物園が近くにあります。

【学校について】

師範大のキャンパスはいくつかあり、普段授業を受けている所(メインキャンパス)と宿泊している寮がある所(公館キャンパス)は別になっています。通学方法は色々あり、普段はスクールバスや公共のバスに乗ったり、歩いたりして通っています。バスだと15分から20分くらい、徒歩だと30分くらいだと思います。

授業は、師範大学や師範大学の語学(中国語)学校(メインキャンパスの道路を挟んで向かい側にある、図書館キャンパスにあります)で受けています。師範大学では中国語の授業や、女性文学の授業、英語会話訓練の授業を履修しています。1日1授業を受けています。



→スクールバスの写真です。ピンク色をしています。



→授業連絡などについて配信されるWebサイトの写真です。文芸大のmanabeに当たるものだと思います。

【終わりに】

今回は、あまり日常生活について書くことが出来なかったのが次回はそのことについて書こうと思います。また来月の報告書を楽しみにしてください。